



つなぐうでは支え合いのまちづくり活動を紹介します

生活支援体制整備事業とは？

ひとり暮らしや支援を必要とする高齢者が増加する中、地域組織やボランティア・老人クラブ・社会福祉法人・NPO・民間企業など、地域の多様な主体が連携を図り、高齢者の生活支援を行っています。

生活支援コーディネーターは住民主体による生活支援・介護予防サービスの充実が図られるよう身近な地域での支え合いを推進し、支え上手・支えられ上手の地域づくりを進めます。



私たちが西区の生活支援コーディネーターです！

木本舞
西区全域



第1層生活支援
コーディネーター

藤谷綾子
第1エリア



北村久美子
第2エリア



第2層生活支援コーディネーター

山田望武
第3エリア



新・札幌ニーズ11(イレブン)を元に活動！



札幌市で令和7年度から取り組みが始まりました。

市全体としての共通のニーズを11個にまとめ、各地域の状況に応じた支え合いの仕組みをつくっていきます。

① ゴミ関係

② 除雪

③ 移動手段
通院,余暇等

④ 買い物

⑤ 高所作業
電球交換,清掃等

⑥ 重い物の移動
家具,灯油等

⑦ 身元保証

⑧ 話し相手
相談相手

⑨ 情報の入手
スマホ,家電操作等

⑩ 書類の手続き
役所,公共料金等

⑪ 担い手不足
町内会,自治会等

第1エリア(八軒/八軒中央/
琴似二十四軒/山の手)

新・札幌ニーズ11を調査！

今年度は、八軒中央地区において、高齢者の生活についてどんな困り事が多いのか？どのような理由があるのか？を把握するために新・札幌ニーズ11（イレブン）を中心にアンケート調査をしました。調査は、8月くつろぎサロン内、9月どんぐりサロン内で行われ約40名のご協力をいただきました。情報を集計・分析し、今後は地域の方と共有し、住み慣れた地域で支え合いに繋がります。

西区生活支援体制整備事業

日常生活支援に関するアンケート調査のお願い

平成27年の介護保険制度の改正により、国では介護サービスの提供内容を見直し、専門的なサービスが必要とする人には専門職が対応し、見守り・話し相手、ゴミ出し、外出支援等、日常生活の困りごとに対する支援は、住民やボランティアなど住民同士の実践で解決できるような地域づくりを進めていくこととなります。

札幌市では平成29年からこの事業が進められており、西区でも、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備の推進を目的に、「身近な地域での実生活」がより広がるよう、生活支援コーディネーターが配置されています。

この事業では、「高齢者の日常生活での困りごと」の調査や「困りごとのサポート」を進めながら実生活の仕組みづくりを行ってまいります。
つきましては、地域の皆様からの声や意見を参考にさせていただきます。調査のアンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。



【札幌市生活支援体制整備事業】
第2層生活支援コーディネーター
藤田 綾子
(八軒・八軒中央・琴似・
二十四軒・山の手地区担当)

第2エリア(西町/西野)「シニアみんなのお食事会」やっています！

西野二股バス停前にある「なないろカフェシェリーのポッケ」でシニアのためのワンコインお食事会を年に数回実施しています。

ランチメニューはその時のお楽しみとなっていて季節にあった料理が提供されます。

一緒に食事をしながら、趣味のことやおうちのことなど話したり、食事後には簡単なゲームで交流しています。生活支援コーディネーターとして困りごとを聞いたり、便利な情報をお伝えしています。



第3エリア(発寒/発寒北) ハッピーハロウィンinハツキタに参加！

10/26(日)に開催された発寒北商店街振興組合主催の恒例行事「ハッピーハロウィンinハツキタ」に「発寒北安心して暮らせるまち協議会」のお手伝いとして参加しました。

発寒北まちづくりセンター前で子どもたちにお菓子を配りながら、地域の方々と交流もできました。

キャラクターのコスプレをしていたのですが、気づいてくれた人もチラホラ...こうして盛り上げながら少しずつ地域に溶け込んでいきたいと思えます。



受託法人

労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団

発行・お問い合わせ先

札幌市北区新琴似1条7丁目1-14 (地域交流拠点ピリカ内) TEL 011-792-5524 FAX 011-792-6001